

## 2-(2) 情報発信ツールの拡充について

### ①本日（12/19）、岐阜市公式ツイッターを開設します

- ・本日（12/19）、岐阜市公式ツイッターを開設します。

開設日：平成30年12月19日（水） ※市長会見終了後に公開

名称：岐阜市役所／Gifu City ※ギフシヤクショ／ギフ シティ

## 1 背景・目的

- ・岐阜市では、かねてからホームページ（H13.1～）のほか、フェイスブック（H26.2～）やインスタグラム（H29.9～）等を活用して、災害情報のほか様々な市政情報の提供を行ってきた。
- ・こうした中、平成30年7月豪雨が発生
  - ⇒ ・岐阜市災害対策検討会議で9点の対応項目と26の強化対策をまとめた「平成30年7月豪雨への対応検証に基づく豪雨災害対策強化方針」を策定（8/30）
  - ・この強化対策の一つである「新たな情報ツールを活用した情報発信検討」に基づき、『ツイッター等のSNSやアプリ等を活用した災害情報の提供について検討する。』こととなった。



- ・その結果、高い拡散性により、災害時の緊急情報を、タイムリーに伝達することができるツイッターを開設することとした。

主な発信内容： ① **避難情報** 避難所の開設状況、避難勧告や避難指示など（緊急情報） ② **被害状況** 道路の冠水や通行止めなど

## 2 平常時の活用

- ・有効活用の観点から、平常時においても岐阜市の魅力となる市政情報を積極的に発信

主な配信内容： ① **催し物案内** イベント、講座の開催告知や参加者募集など  
② **事業紹介** 観光や国際交流など、市の取り組み  
③ **注意喚起** 感染症の流行、食中毒警報の発令など

⇒ イベントの集客アップや市の施策の認知度向上を図る。

- ・なお、日本国内でのツイッター利用率は、全体で3割（31.1%）と3人に1人が利用特に年代別では、10代、20代が約7割（10代：67.6%、20代：70.4%）

⇒ 市政の認知度が低い、若い世代への情報発信ツールとして期待

（出典：総務省 平成29年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書）